

川とともに歩んできた歴史

渡し舟

「木曾のかけ橋、太田の渡し、うすい峠がなくなればよい。」

これは、中山道三大難所のひとつとされた、木曾の渡し場を歌ったものです。濃尾平野は昔から東西南北の交通の要であり、東海道、中山道、美濃路などの主要な街道が木曾三川を渡っていました。しかし、当時これらの川には橋がほとんどなく、このため各地に渡船場が設置され、交通の要衝として重要な役割を果たしました。

太田の渡し（岐阜県美濃加茂市「可児市」は、書物によるとすでに十三世紀以前に存在しており、その歴史はたいへん古いものです。江戸時代には、五街道の一つ、中山道の渡し場として、宿屋や、茶屋などが立ち並び大いににぎわいました。歌川広重の『東海道五十三次 太田の渡し』には、ほのぼのとした旅人の姿が描かれ、そこからは自然の雄大さと旅のロマンを感じさせてくれます。

明治三十年代に入ると、兩岸を鉄線で結び滑車を利用して舟を進める「岡田式渡船」が登場しました。これによって一日に何往復もすることができるようになり、乗客が集まってくると、船を出しました。夜でも、対岸の船頭小屋へ大声で呼びかけると、船を出してくれたそうです。



地理学の祖、志賀重昂がここへ訪れたとき『欧州のライン川に勝る景観地なり』と、絶賛したことから、日本ラインと名づけられ、広く世間に親しまれるようになりました。訪れる観光客は、そのスリルと景観の美しさに酔いしれ、しばし川の流れに身をまかせます。

むかしむかし、ずーっと昔、小淵、般若のあたりに伝わるお話。ある年の夏、毎日のように雨が降り続いて木曾川の水が赤くにごり、ごうごうと音をたてて流れ続けました。川岸に住む人たちは、だんだん心配になって、空ばかり見上げていました。ここに善助という「鶺鴒町（現在の西古券のあたり）」の門番がおりました。善助は、「これしきりの雨で、堤が切れてたまるか」と、ひどりで強がりをつけていました。が、門の扉がきいきいと音をたてるので、なんとなく寝耳について、眠れない日々が二・三日つづきました。



ある夜、なにげなく門の外へ出てみると、雨はうそのようにやみ、月が青白い光をなげかけています。善助は川岸に立ってごうごうと流れる川水を眺めていました。すると、川のかなたから何やら叫び声が聞こえてきます。善助は不思議に思っって耳をすましました。

「やろうか！、やろうか！」
川の主の叫び声だろ
うか、それとも妖怪の
仕業だろわか、不気味
な声か地響きのように呼びかけてきます。それを聞いて頭にきた
善助は思わず、
『よこせば、よこせ！』
と叫んでしまった。
すると、たちまち濁流が堤に押し寄せてきたかと思うと、あつ
というまに鶺鴒い屋付近の土地は水の水のそこに沈んでしまいまし
た。

水と昔話 やろか水

犬山市

参考資料 犬山市史「郷土読本犬山」より

みずしるべ



新丸山ダムキャラクター しんまるくん

発行

建設省中部地方建設局
新丸山ダム工事事務所

4

INFORMATION

建設省新丸山ダム工事事務所は地域の皆様や関連する方々との情報ネットワークとして情報誌「みずしるべ」を発行しております。
「地域とダムと水」をテーマに内容をますます充実させて行きたいと思っております。ご意見・ご感想がございましたらぜひお寄せ下さい。



兼山ダム貯水池のカヌー

新丸山ダム概要

新丸山ダム建設事業は、木曾川本川が濃尾平野に流れ出る手前の峡谷に設置されている丸山ダムを大規模に嵩上げして、洪水調節能力を大きく向上させようというものです。

我が国あるいは世界で大きな役割をになっている中部圏を支え、更に発展させてゆくための基盤施設として、木曾川の新たなカナメとして生まれかわる新丸山ダムは、極めて大きな役割を果たすこととなります。



建設省中部地方建設局
新丸山ダム工事事務所
〒505-03
岐阜県加茂郡八百津町八百津3847

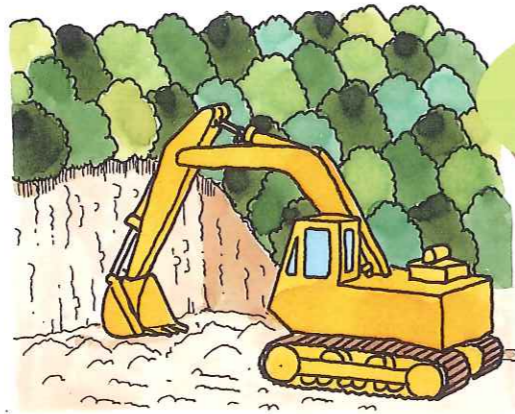


もしもしテレフォン
新丸山ダムについてどんな事でも
お気軽にお問い合わせ下さい。
0574-43-2780(代)

夢ひろがる新丸山ダム

調査や工事が着々と進められています。

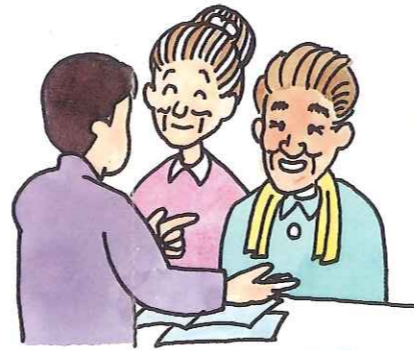
私たち新丸山ダム工事事務所では、新丸山ダム建設に向けて現在様々な調査や工事を進めています。ここでは、その代表的なものを取り上げました。



工食用道路
工食用道路として使用する国道418号の工事が着々と進められています。

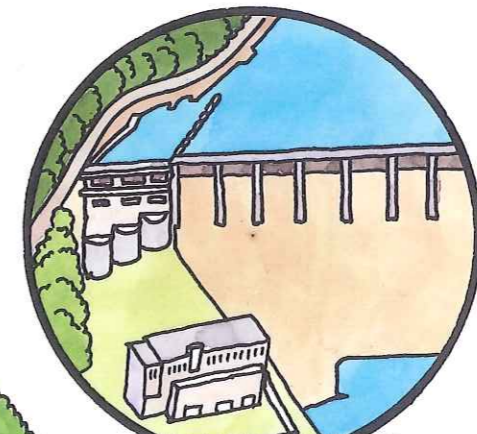


丸山トンネル
工食用道路として使用される丸山トンネル(全長181m)の工事が、今秋の貫通を目指して進められています。(供用開始平成5年度末を予定)車道の幅7m歩道も2m幅で付設されます。



用地補償

去る3月27日の新丸山ダム建設に伴う損失補償基準の妥結調印を受け、家屋などの移転や土地を譲っていただく方への個別の話し合いがもたれています。



笠置ダム・笠置発電所
貯水池最上流端にある笠置ダムの改造・発電所の補償工事のための様々な調査が進められています。

笠置ダム

新たに水没する
範囲132ha
家屋32戸



めい想の森



深沢峡と五月橋
貯水池周辺は、湛水面や急峻な地形からなる断崖壁など自然景観の豊かな地域です。ここにかかる五月橋もかけかえを計画しています。



調査横坑

ダムの基礎地盤の状況を直接目で確認するための、延長50~100m程度のトンネル(調査横坑)がダムサイトの両岸に現在までに7本ほられています。

ダムの設計

ダム洪水吐きの形状や、施工方法についてのきめ細かな検討が積み重ねられ安全なダム施工における設計が行われています。

五月橋



環境調査

ダム建設にあたっては、あらかじめ自然環境への影響を適切に調査することが大切です。どんな種類の動物や植物が生息しているかを実際に山々を歩き、目で確かめながら調査を進めています。



新小和沢橋

御嵩町と八百津町を結ぶ、新小和沢橋が建設されようとしています。周囲の景観にマッチするようにデザインされています。

ボーリング調査

ボーリングマシンを使ってコア(円柱上の岩の資料)を採取することにより、地中の地質の構成や岩盤状況を調べます。この総延長は実に6,000mに及びます。これらのデータをもとに綿密なダム設計が行われています。



新丸山ダム

現丸山ダムの洪水調節機能と発電機能を共に保ちながら嵩上げを行うという日本初の画期的な工事を行います。ダムの嵩上げとしては、日本最大規模です。現在の丸山ダムの洪水調節、流水の正常な機能の維持、発電の機能を大幅にパワーアップするため、新丸山ダムが建設されます。

●ダム及び貯水池の諸元

位置	左岸	岐阜県可児郡御嵩町小和沢字北浦山
型式	右岸	岐阜県加茂郡八百津町八百津字安渡
型式	重力式コンクリートダム	
堤高	122.5m	(98.2m)
集水面積	2,409km ²	(2,409km ²)
総貯水容量	146,350,000m ³	(79,520,000m ³)
有効貯水容量	105,220,000m ³	(38,390,000m ³)

* ()内は既設ダム

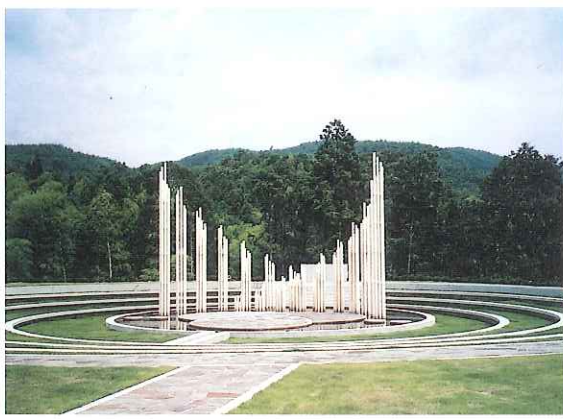
ふれあい すぺ〜す

岐阜・八百津から平和という名のメッセージ

故 杉原千畝氏をたたえ、 モニュメント完成

『あなたは自分を犠牲にしてまで、人を助けることができますか』

八百津町出身の外交官、故・杉原千畝氏。彼は、自分の地位と名誉を投げ捨て、約六千人の尊い命を救いました。この偉大な行為は世に認められ、遠くイスラエルの地では杉原氏のことを知らない人はいません。



第二次大戦中当時、杉原氏は旧リトアニア共和国日本領事館で領事を務めていました。ある日のこと、建物のまわりにたくさんの人だかりができています。ポーランドに住んでいたユダヤ人がナチス・ドイツの迫害から逃れようと、リトアニアに逃げてきたのでした。彼らは、米国等への渡航を希望した人達で、どうしても日本通過のビザが必要だったのです。明日にもここカウナスにドイツ軍が進攻するかもしれない。おびえた目で、祈るように杉原氏を見つめます。

心を強く打たれた彼は、ビザを発給しない日本の外務省を押し切って、独断で日本通過ビザを発行し続けました。こうした行為によって、多くの人々の命が救われたのです。

彼の行った人道的行為——崇高な精神と偉大な功績を後世に伝えるため『人道の丘公園』にモニュメントを完成させました。

『世界平和』をテーマにしたこのモニュメントは、1組8本のセラミックパイプが前列10組、後列10組で構成され、なめらかな放物線を描いて建てられています。

パイプの先端からは水が湧き出し、パイプの中に仕込まれた鐘が世界平和のシンフォニーをやさしく奏でます。夜間はライトアップされ、美しい姿が夜空に浮かび上がります。

八百津町では、町中心部から東寄り、新丸山ダムの北西側丘陵地に『人道の丘公園』を平成3年度より3カ年計画で、総事業費約6億円をかけて建設中です。8月12日にはモニュメントを中心としたメモリアルスペースの開園式が行われます。

いべんと

インフォメーション

恵那市

- 8月中旬 ●グリーンピア恵那夏まつり
(中野方町グリーンピア恵那)
- 10月4日 ●剣の舞い笠踊り
(笠置町毛呂窪蘇原神社)
- 10日 ●獅子舞い(大井町長島金比羅神社)
- 10日 ●重箱獅子(三郷町野井武並神社)
- 10・11日 ●恵那ふるさとまつり
(JR恵那駅前旧中山道市街地周辺)

お問い合わせ

恵那市役所 (0573) 261211

八百津町

- 8月12・16日 ●杉原ウィーク
(人道の丘公園・八百津町ファミリーセンター)
- 10月10・11日 ●マリンスポーツフェスティバル
(蘇水峡公園)

お問い合わせ

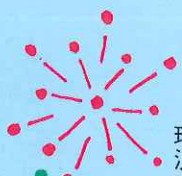
八百津町役場 (0574) 431211

瑞浪市

- 10月17・18日 ●産業フェスティバル
(市道公園線沿い)
- 29・31日 ●セラミック・マシーン・ショー
(92瑞浪(瑞浪市公園集いのひろば))

お問い合わせ

瑞浪市役所 (0572) 681211

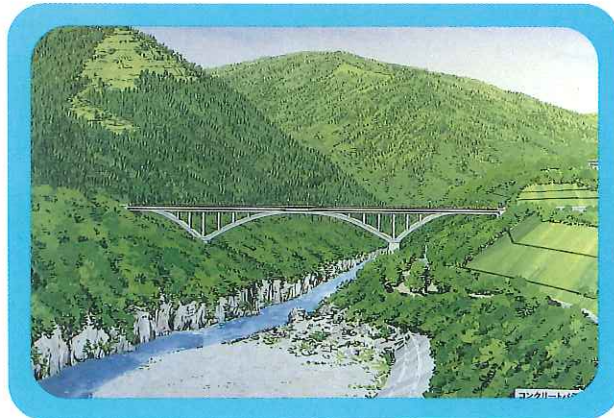
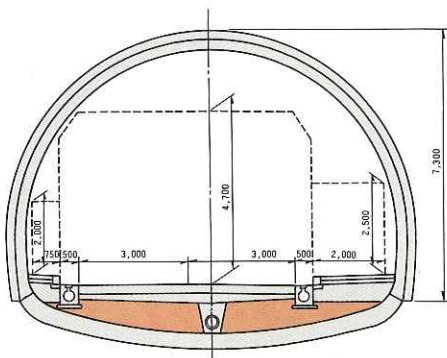


新丸山ダムトピックス



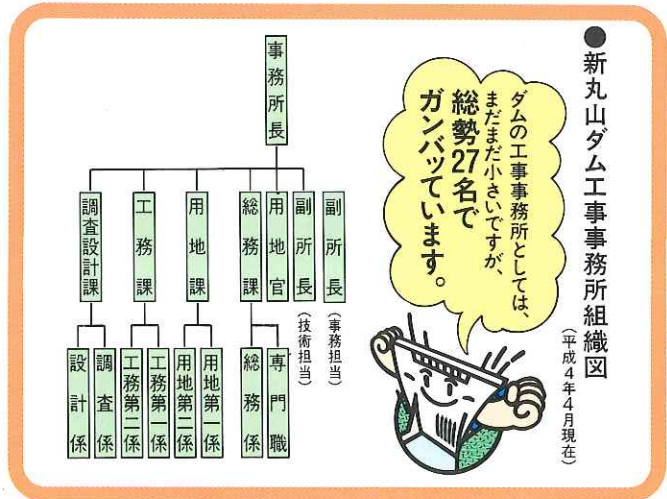
1. 損失補償基準妥結 個別補償に向けて本格的に動き出しました。
 新丸山ダムの建設に伴う損失補償基準が関係住民の皆さんのご理解とご協力を得て妥結、3月27日調印式が岐阜県庁で行われました。
 この日の調印式には、新丸山ダム補償基準交渉委員会連合会の瀬瀬忠男連合会長17名の役員の皆さんと、中部地方建設局の山口一弘局長、立ち会い人として梶原岐阜県知事・荒井八百津町長・平井御嵩町長・安藤瑞浪市長・森川恵那市長のご出席をいただき、協定書に署名しました。
 今後、個々の生活再建や地権者との補償契約を速やかに行なっていく予定です。

2. 丸山トンネルの掘削工事が着々と進んでいます。
 工事用道路として使用する国道418号『丸山トンネル』（全長181m、車道幅7m、歩道2m）が今秋の貫通を目指して掘削工事が進んでいます。工事完了は、来年の3月末を予定。皆様のご協力をよろしくお願い致します。



3. 豊かな自然の山々と渓谷美にマッチした新小和沢橋のデザイン。
 新小和沢橋からは、上流側に荘重な新丸山ダムを展望することができ、下流側には美しい蘇水峡の断崖壁を眼前に見ることができる豊かな自然と風景の中に架けられる橋です。
 橋の基本構造形は自然とも良くマッチしたコンクリートバランスドアーチ橋、橋からの展望を楽しんだりできるよう上路橋式とし、橋中央部に記念撮影等ができるバルコニーを設置。地域シンボルとして皆様に親しんでいただけるよう架橋に向けて準備を進めてまいります。
 *新小和沢橋 工事用道路兼付替道路として、ダムサイト約800m下流に架かるもので、御嵩町の国道21号方面、八百津町へのアクセスとなる重要な橋梁です。

新丸山ダム工事事務所組織図



事務所の動き

- 平成4年3月27日 新丸山ダム損失補償基準妥結・調印式
- 4月9日 平成4年度予算成立
 新丸山ダム建設事業費24億円
- 4月以降 八百津町、御嵩町、恵那市、瑞浪市の各地区毎に補償基準説明会を順次行う。
- 5月 新庁舎の建設はじまる。
 (八百津町ファミリーセンター北側)